

今世紀最大のロマンは”この地”にある

第2回  
古代史・神話  
ネットワークの集い  
in  
蒜山  
日留山高天原

開催  
日程

平成30年5月15日(火)～16日(水)

開催  
内容

15日 研究発表・交流会

真庭市役所蒜山振興局大会議室(真庭市蒜山下福田305)

蒜山バイブルキャンプ(宿泊)(真庭市蒜山下福田72-32)

16日 お田植え体験<稲作発祥の地：古事記 天の狭田・長田の地>

四ツ塚史跡公園周辺(真庭市蒜山上長田)

蒜山郷土博物館(真庭市蒜山上長田1694)

※詳細は裏面

主催：古代史・神話ネットワーク(幹事団体 山陰古代史研究会)

主管：頭屋幹事 蒜山高天原神話ロマンの会

共催：全国邪馬台国連絡協議会中四国支部 一中四国大会Ⅱー

後援：真庭市、真庭市教育委員会、新庄村、境港市、梓書院、新日本海新聞社、(株)中海テレビ放送、BSS山陰放送、日本海テレビ、朝日新聞米子支局、山陽新聞社真庭支局、真庭いきいきテレビ、TSCテレビせとうち、山陰中央新報社、TSK山陰中央テレビ、読売新聞岡山支局、毎日新聞鳥取支局

お問い合わせ：古代史・神話ネットワーク事務局 小椋 TEL：090-2802-8957 FAX：0859-33-2776

蒜山高天原神話ロマンの会 湯楨 TEL：090-7549-7849 FAX：0867-66-3190

## 5月15日 (火)

第1部 10:00~17:00 研究発表(蒜山振興局大会議室)

会費:2,200円(昼食代、資料代込み)

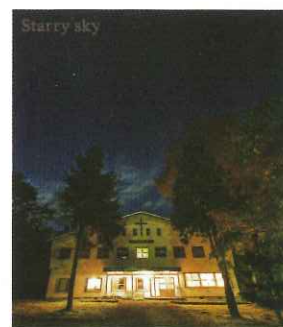
9:30~	受付	
10:00~	開会	
10:20~11:20	『文化と智識の吹き溜まり、中国山地』	講師:上島 敬一氏 (蒜山文化協会 副会長)
11:25~12:25	『出雲と伯耆の国境周辺の大山道について』	講師:松本 典巳氏 (山陰古代史研究会 研究員)
12:25~13:00	昼食	
13:00~13:30	蒜山の昔話	蒜山高天原神話ロマンの会
13:35~14:35	『再考「蒜山(高原)高天原」説』	講師:長 秋雄氏 (産業技術総合研究所 主任研究員)
14:45~15:45	『天孫降臨はなぜ行われたか?その理由と場所』	講師:村岡 信孝氏
15:50~16:50	調整中	講師:岡田 善治氏 (考古クラブ代表)
17:00	解散	

第2部 18:00~ 交流会(蒜山バイブルキャンプ)

交流会費:3,000円

宿泊 蒜山バイブルキャンプ

宿泊料金:5,000円(朝食付)



蒜山バイブルキャンプ全景

5月16日 (水) 9:30~ (四ツ塚史跡公園周辺、蒜山郷土博物館)

・田植え(手植え)体験(雨天決行)2時間程度

・神舞楽(かむら) <舞手:瑠音(ルネ)>

・蒜山郷土博物館散策

参加費:600円 軽食付き

蒜山バイブルキャンプ 岡山県真庭市蒜山下福田72-32 TEL 0867-66-2076

蒜山郷土博物館 岡山県真庭市蒜山上長田1694 TEL 0867-66-4667

**参加申込書** ご希望の日程に○をつけてFAXまたはE-mailもしくはTELでお申し込みください。

フリガナ:

お名前:

住所:〒

連絡先:

宿泊: あり ・ なし (ありの場合下記の金額に+5,000円)

希望参加日程(宿泊料金別):

全日程(5,800円) ・ 15日のみ(5,200円) ・ 16日のみ(600円)

15日第1部のみ(2,200円) ・ 15日第2部のみ(3,000円)

15日第1部と16日(2,800円) ・ 15日第2部と16日(3,600円)

古代史・神話ネットワーク事務局 FAX:0859-33-2776 E-mail:u20001070335@fg8.so-net.ne.jp

または蒜山高天原神話ロマンの会 TEL:090-7549-7849 FAX:0867-66-3190

※当日参加も受け付けますが、準備の関係上5月5日頃までにお申込みいただくと幸いです。

## ■五月十六日（水）日留山（蒜山）高天原

# 「天の長田」でお田植体験 !!

### 天の長田

### 稲作り六千年の歴史のスタートの地

「即ちその稲種を以て、初めて、始めて、天の狭田また長田に殖う。その秋の垂ほ、八握つかほにこころよしなひて、甚だ快し。」（「日本書紀」一書）

ここは岡山県真庭市蒜山下長田（旧幕府時代の美作国大庭郡布施郷長田村）の地であって、高天原時代において、最初に稲種のおろされたところなのである。この地の産土の神を祀る社は、延喜式神名帳に明記された、いわゆる式内の長田神社であって、位階は従五位下とある。ご祭神は、天照大御神、須佐之男命、大穴牟遲命、邇邇芸命外十二神である。（中略）

さて、その「天の安河」の兩岸の平地に沿うて、細長い、いかにも原始的な田が作られていた。それを、「天の狭田・長田」とよんだ。日本における最初の稲田であった。時代は今を去るおよそ六～七千年前である。

### イネは「命の根」

天照大御神がその至高至美な御名を奉られたのは、「青人草の食いて生くべき」稲種を最初に発見されて、爾来幾千秋にわたり、尊い人命を養われる基礎をお作りになったからのことだという。  
延原大川 「高天原」より

## ■五月五日は長田神社で古式お田植まつりも

蒜山八束地区には、下長田、上長田、下福田、中福田、上福田、富掛田、美田野、及び蒜山川上地区には、徳田、苗代など田に関係のある地名が多い。

長田神社の周辺は、田の始めて出来たところで、古事記にも、狭田、長田とある。

長田神社には稲作りの古式が今も残っている。五月五日のお田植まつりの式である。これは、神代よりの古式で、稲作り一切の行事を、ユーモラスに神前で行うものである。

橋本勝治 「日本の神話 蒜山高天原物語」蒜山高天原神話ロマンの会編より

## 16日午前9時 蒜山郷土博物館集合；2時間程

舞手・瑠音さんの神舞楽によりスタート

参加費600円（おにぎり・お茶付き）

■参加申込：5月15日までに蒜山高天原神話ロマンの会

湯槇（ゆまき）090-7549-7849まで